

アグリ | ワーク | ポイント



果樹林産センター 小柳博明

みかん

着花量に
応じた管理を
行いましょう

着花管理

開花期の管理は今年の収量や品質、外観に大きく影響します。近年は、樹ごとで花のバラツキが大きくなっているため、園内をよく観察し、着花量に応じた管理を行いましょう。

着花の多い樹

有葉花摘蕾を行い、来年の結果母枝を確保しましょう。目安として長さ5cm以上または、新葉5枚以上の有葉花を摘蕾しましょう。

着花の少ない樹

花と新梢との養分の奪い合いで、生理落果が助長されます。着果させたい花の近くの新梢を芽かきや摘芯することで、果実に分配される養分が増加し、生理落果が抑制されます。

葉面散布

着花の多い樹は、樹勢維持・回復を、着花の少ない樹は早期の緑化により生理落果軽減を目的に、尿素500倍を開花期前から1次生理落果が始まる前までに3回程度散布しましょう。

病害虫防除

5月は、灰色カビ病・訪花昆虫の防除時期です。幼果にキズがつくと、果実肥大とともにキズも大きくなり、外観を著しく損ねてしまいます。

灰色カビ病は、落弁期の降雨により、花弁が幼果に付着することで発病し、果実にキズがつきます。また、訪花昆虫は、開花期に花粉や蜜を求めて飛来し、果実に細かいキズを付けます。自園をよく観察し、五分咲期と落弁期に防除を行ってください。

五分咲き期

灰色カビ病 フロンサイドSC

2500倍 (30日ー1回)

訪花昆虫 モスピランSL液剤

3000倍 (14日ー3日)

落弁期

灰色カビ病 ナリアWDG

2000倍 (14日ー3回)

